



ずいぶん涼しくなりました。寒いと感じられる日もあります。睡眠・食事を十分にとり、衣服の調節も行いながら、体調管理に気を付けて、せっかくやれるようになった運動会を迎えたいです。

「運動会が成功する」とは

いよいよ運動会が土曜日になりました。子ども達は、運動会の成功に向けてがんばっているまっ最中です。全校朝会で、子ども達と『運動会の成功』とはどういうことか』を考えてみました。運動会の成功のためにどんなことをがんばったらいいかということです。

☆勝利に向かってがんばること

☆演技・種目を完成させるためにがんばること

☆勝ち負けを越えて、係り活動など

みんなのために役立つようにがんばること

<1つ目>それは、勝つためにがんばることです。速い人はより速く、得意でない人も最後までがんばって。もしも転んでしまって1位になれそうになくてもがんばります。そのがんばりが積み重なって最後の勝敗を分けます。

<2つ目>演技や種目の完成のためにがんばることです。ソーランでも、体操でも、行進でも、「腕を伸ばす」とか「姿勢はこういうふうに」というように教えていただいています。それを、気を抜くことなく、どの子もやり切って完成です。だれかが気を抜くことで、その演技はまとまりをなくしてしまいます。応援もそうです。

<3つ目>係の人達がいます。(朝会の前半で係の紹介がありました)。勝ち負けには関係ありませんが、運動会全体を支える大切な仕事です。係の人達がいないと、運動会はできません。係やリーダーは、学年にもあるかもしれません。勝ち負けに関係なく、勝ち負けを越えて、そして赤組・白組の別も越えて、全体のために自分の役目を果たします。

この3つを頑張って運動会を成功させましょう。

応援団の進化

日々階段を一段ずつのぼる

応援練習が始まって2日目の9月29日。練習の様子が変わりました。高学年が低学年の子のそばに立って、「手の振りはこちら」「声を出そう」と声をかけていました。また、あたりを見渡し、声をかけなければい子を見つけては仲間(高学年)に指示していたのです。さらには、1つ1つの練習のたびに、注意することを伝えたりよいところを紹介したりしていました。



昨日は、失礼ながら「そばには立ったもののどうしていいか思いつかない」といった様子でしたが、それに気がついてか、反省会をしてどうしたらよいか話し合っただけでした。こうして、少しずつ、リーダーとして組をまとめています。

応援採点

「5対0」から 「2対1」へ



5日(月)の全体での応援練習。集合、整列なども応援リーダーが行います。揃った組が、指令台のところにいる先生に合図を送ります。整列は白が速いようです。エール交換が始まりました。赤の声が大きいです。どちらも隊形を変えるたびに、リーダーが小さい子に声をかけます。前よりも上手に統率しているようです。最後に応援合戦。応援合戦は、採点をすることになりました。どちらも声を張り上げ一生懸命です。採点は、「5対0」で白の勝ち。今度は、白の声が大きかったのです。また、動きもまとまっているように感じられました。「5対0」ですからどの先生にも明らかにそのように感じられたということです。でも、差はそんなに大きくないようでした。むしろ赤組は、まとまった動きとしてはまだ完成途中かもしれませんが、団員に声をかけていたのは赤組の方が多かったです。よりよく変わってくるのでしょうか。

練習が終わりました。子ども達が教室へ入っていきます。と、どうしたのでしょうか。赤組の高学年が集まっています。話し合っているようです。その輪には先生の姿はありません。見ていた春樹先生が、「こんな光景は初めてではないでしょうか。」と感心しておられます。それを見たからか、「勝っても油断してはいけない」と思ったからか、白組も集まり始めました。そして迎えた予行練習。今度の判定の先生は3人で「2対1」。またもや白の勝ちではあるものの、赤は1点差に追いつけてきました。



スローガン「耀理」は輝くこと。輝くのは本番だけではありません。こうして練習のときから真剣に努力している姿がすでに輝きはじめているのではないのでしょうか。

運動会取り組みの最中ですが、 いえ、取り組みの最中だからこそ 当たり前のことも

教室から校庭や体育館へ。運動会の練習の真ただ中で、教室移動も増える時期ですが、そのわりには、廊下が静かな気がします。自分達は練習に向かいますがほかの組は勉強しています。休み時間だと思ってもまだ勉強している学級があるかもしれません。そんな風に、周りに気を配ることを先生方が教えているようです。

「運動会が終わってから」ではなく「移動が多い時期だからこそよい機会にして」ということで取り組んでいます。

そんな変化を感じている中、6日の全校朝会。入ってくる5年生や6年生に声がありません。続いてくるほかの学年も。全校集まっているのに体育館が静まっています。廊下の移動がよくなったら全校朝会の集まり方までよくなってきたのです。

忙しく活動する時期ですが、このように、落ち着いて暮らすこと、心穏やかにする時間も必要と感じています。